

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミ II	チーム名	チーム牛
タイトル	神戸ビーフによる神戸インバウンド集客		
テーマ群	d) 国際経済 f) 歴史・思想		
メンバー			
研究計画内容	<p>私たちのゼミは「神戸と国際交流」をテーマにしています。今回の私たちの発表では、神戸牛を通して神戸を世界に発信し、魅力を知ってもらい、神戸のインバウンド増加を図る計画案を考えました。</p> <p>大阪・京都・神戸の関西 3 大都市のインバウンド数において、神戸は 3 番目の順位となっています。私達は、この差を埋めるための具体策は何かないかと考えました。そこで、外国人発祥であるとともに、かつてから世界の人々の舌を魅了してきた神戸牛が妙案だと思い至りました。神戸牛は、伝統的に守り続けた血統故に、他の牛肉とは違う美味しさがあり、上手く神戸牛を活かすことで、神戸を世界に発信でき、インバウンド増加に繋がり、大阪・京都との差を埋められるのではないかと考えました。</p> <p>神戸牛の歴史は古く、明治時代初期に遡ります。神戸牛はその時から外国人に受け入れられ、2009 年には、当時の米国大統領のオバマ氏が「神戸牛を食べたい！」と言っていたことや、他にもハリウッドスターや欧米の政治家等から注目を受けるほどの知名度も誇り、人気ぶりが分かります。神戸牛のように伝統と歴史があり、外国人に受け入れられている食べ物は、大阪・京都にはないと考え、この利点も活かすことのできる方策を探求しました。</p> <p>その手段としてまず、甲南大学の外国人留学生の方々にアンケートをとり、さらに神戸肉流通推進協議会にフィールドワークを行いました。そして、アンケートでは知っているが食べたことがない人の割合が多く、フィールドワークでは、規制により、輸出量を簡単に増やすことはできないという結果を得ました。そこで私たちは、訪れやすく、神戸牛を食べやすく、買いやすい施設を神戸市内に設けるという方策を、考案しました。</p>		